資料1

令和5年度
福知山市予算案の概要

令和5年2月
福知山市

構　成

Ⅰ　当初予算の全体像

Ⅱ　「まちづくり構想　福知山」でめざすまちづくり

①市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち

②市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち

③市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち

④市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち

⑤市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち

⑥市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち

⑦市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が生かされるまち

⑧市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち

⑨持続可能な生活を支える基盤の整ったまち

Ⅲ　持続可能な財政構造の堅持

Ⅰ　当初予算の全体像

幸せを生きる　まち・暮らし　実現への飛躍予算

会計	令和5年度	令和4年度	増減
一般会計	**471.0**億円	432.0億円	+39.0億円（+9.0%）
特別会計（9会計）	**184.3**億円	196.4億円	△12.1億円（△6.2%）
企業会計（3会計）	**340.2**億円	296.3億円	+43.9億円（+14.8%）
全会計 総額	**995.5**億円	924.7億円	+70.8億円（+7.7%）

【当初予算のポイント】

◆令和5年度は、令和4年度からスタートしたまちづくりの基本的な指針「まちづくり構想　福知山」の取組を本格化、大きく進展させていく年度であり「幸せを生きる　まち・暮らし　実現への飛躍予算」として積極型の予算を編成した。

◆「まちづくり構想　福知山」でめざす「市民が幸せを生きるための将来像」を実現するために、子育てや教育、福祉、環境、産業などあらゆる分野に目配りをし、新規・拡充事業にも積極的に予算を配分した。

◆一般会計の予算総額は、当初予算比較では39.0億円の大幅な増となったが、これは投資的経費をはじめとした政策的な経費を多く盛り込んだことによる。

◆特別会計は、介護保険事業特別会計（保険事業勘定）が1.7億円の増、後期高齢者医療事業特別会計が0.7億円の増となる一方、農業集落排水施設事業が下水道事業会計に経営統合されたことなどにより、総額では12.1億円の減となった。

◆企業会計は、水道事業会計が5.1億円の減、下水道事業会計が農業集落排水施設事業の統合などにより24.3億円の増、病院事業会計が24.7億円の増となり、総額で43.9億円の増となった。

◆全会計の総額は、70.8億円の増となり、当初予算としては2年連続で過去最大の予算額となった。

Ⅰ　当初予算の全体像

一般会計	令和5年度	令和4年度	増減
歳入・歳出総額	**471.0**億円	432.0億円	+39.0億円（+9.0%）
（歳入）一般財源（基金繰入除く）	**268.5**億円	267.8億円	+0.7億円（+0.3%）
（歳入）市債	**56.6**億円	26.6億円	+30.0億円（+112.5%）
（歳出）経常的経費	**345.7**億円	337.9億円	+7.7億円（+2.3%）
（歳出）投資的経費	**88.3**億円	53.4億円	+35.0億円（+65.5%）

※一般財源には基金繰入を含まない　※臨時財政対策債は一般財源に含み市債に含まない　※増減額・率は0.1億円未満の端数処理の関係で本表上の計算と合わない場合がある

【一般会計歳入予算のポイント】

◆市税は、法人市民税が1.3億円、固定資産税が1.0億円の増を見込むなど、総額で3.5億円の増
◆普通交付税及び臨時財政対策債は、市税等の増に伴う基準財政収入額の増等により、合わせて1.5億円の減
◆光熱費高騰の影響に対応するために財政調整基金繰入金は3.6億円を計上
◆財政調整基金繰入金等の基金繰入金を除く一般財源は、市税や地方消費税交付金等が増加する一方、臨時財政対策債が減となり0.7億円の増
◆臨時財政対策債を除く市債は、投資的経費の増に伴い30.0億円の増

【一般会計歳出予算のポイント】

◆総額は、つつじが丘・向野団地建替や三和地域交流拠点施設整備事業、地域公民館等長寿命化（大規模改修）、第4期埋立処分場整備事業などにより投資的経費が35.0億円増加したことに加え、学校給食費を市の予算に計上して管理・運営を行う「学校給食費の公会計化」による増も影響し、前年から39.0億円増加し過去最大の471.0億円
◆経常的経費は、学校給食管理運営事業、福知山公立大学運営費交付金、保育所委託事業等の増に加え、光熱費の高騰や会計年度任用職員の処遇改善などにより7.7億円の増

【その他のポイント】

◆合併算定替逓減対策基金は3.8億円の取り崩し

Ⅱ 「まちづくり構想　福知山」でめざすまちづくり
① 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち

市民と様々な情報を共有しながら、

災害対応や生活支援、日常の生活手段の確保などを、

地域と協働して進めます。

地域の構成員である市民や企業、NPO、各種団体、

関係人口などが地域の担い手となり、

自助・共助・公助の役割分担も踏まえた

持続可能なまちづくりを進めます。

Ⅱ-① 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち

シティプロモーションでブランドイメージを向上させます

主要事項説明書掲載ページ

福知山ＰＲ戦略総合推進事業　３８００万円　*P. 20*

地域ブランドを高めて福知山ファンを増やし、関係人口・交流人口の拡大とシビックプライドの醸成を図るため、コミュニケーションを通して社会と良好な関係を築く、パブリックリレーションズ発想のシティプロモーションに取り組みます。

（主な取組）

◆「まちづくりへの挑戦心＝光秀マインド」をコンセプトにしたPR活動

◆本市の鬼資源の情報発信など、地域ブランドを育成するためのPR活動

◆市役所職員や市全体のPR力・広報力向上のための各種活動

「福知山の変」ポスター

ふるさと納税を通じて市外の方と福知山市との関係を築きます

ふくちやまサポーター拡大事業　６億２０６２万円　*P. 21*

市民の力や市外の方の力を活かしたまちづくりを進めていくにあたり、重要な要素となる関係人口の拡大を進めるため、地域の魅力やふるさと納税などの情報を発信して、福知山市に魅力を感じ、継続的に応援していただける方々を拡大しつつふるさと納税額のさらなる増加と事業者支援をめざします。

（主な取組）

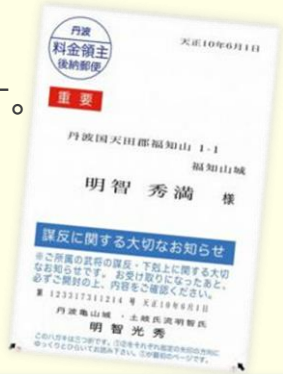
◆「いがいと！福知山ファンクラブ会員」の拡大と情報提供による継続的な関係構築

◆ふるさと納税における新たな返礼品などの開発

定期便や高価格帯返礼品を開発予定

◆ふるさと納税の返礼品提供事業者の魅力を伝える情報発信の強化と事業者支援

※歳出額のうち3億9120万円は基金積立金



返礼品の一つ　明智光秀からの「謀反のお知らせハガキ」

充実したバックアップで更に移住・定住を促進

移住・定住促進事業　４９９２万円　*P. 22*

コロナ禍を契機に全国的に地方移住への関心が高まる中、本市への移住希望者は増加しています。オンラインと現地での支援を臨機応変に組み合わせて、多様化する移住希望者のニーズに合った支援を行い、関係人口や将来的な移住・定住者の増加と担い手の確保による地域振興を図ります。

（主な取組）

空き家改修費等の補助を継続

◆移住希望者・移住者への支援及び情報発信等

◆空き家情報バンクの運営・活用支援

◆京都府北部地域の市町間で連携した移住促進

移住希望者 体感ツアー

空き家情報バンク物件購入希望者への内覧

Ⅱ-① 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち

「行かない、書かない窓口」の実現に向けてデジタルツールを活用します

拡充 **窓口のICT推進関連　７４１万円※**　P. 23

※右の事業の関連経費の合計額　行政手続オンライン化事業　258万円　戸籍等事務事業　134万円　権利擁護支援事業　349万円

*この事業は基本政策⑥

令和4年度から計画期間が開始したスマートシティふくちやま推進計画でめざす「すべての市民が「いつでもどこでも」ICT等による利便性の高い社会の中で、安心・安全に暮らし続けることができ、発展しつづけるまち」の実現に向け、市民アンケートで多くの意見があった「行政手続きのオンライン化」等を進めていきます。 令和5年度は、「行かない、書かない窓口」の実現に向けてデジタルツールを活用し、窓口まで来なくても申請やサービスを受けることができる取組を複数の部署で開始します。

（主な取組）

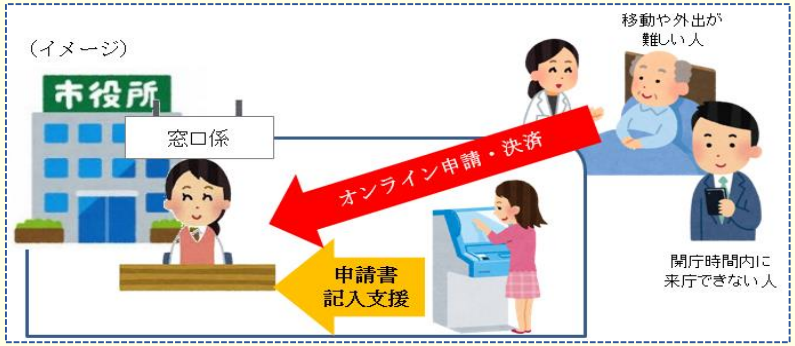
マイナンバーカードを活用

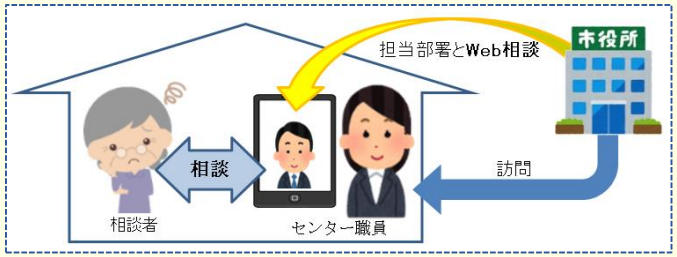
◆オンライン申請システムの導入【拡充】
└電子的な本人確認や手数料などのオンライン決済を実現

マイナンバーカードを活用

◆窓口申請書記入支援システムの導入【拡充】
└あらかじめ登録されている氏名、住所等が記載された申請書類を作成

◆Web相談システムの導入【拡充】
└相談者宅訪問時の相談内容に応じて、各担当部署の職員と直接相談できるようにするWeb相談システムを導入





経済的負担の軽減で社会参加をさらに後押し

拡充 **障害者安心おでかけサポート事業　１０８９万円**　P. 25

在宅の重度障害のある人に対して、移動に要するタクシーや福祉有償運送等の料金を助成することで、社会参加を促進するとともに経済的負担を軽減します。

（主な取組）

◆タクシー等で使用できる利用券の交付【拡充】

令和5年度　制度拡充の内容

	要件	金額
拡充前	対象者の世帯に係る前年分の所得税の合計額が399,000円を超えない	12,000円/年
↓		
拡充後	市民税非課税世帯であって、家族による外出手段が確保できない	36,000円/年を上乗せ

Ⅱ 「まちづくり構想　福知山」でめざすまちづくり
② 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち

地球環境問題を自分事として捉え、

身近なことから実践するまちづくりを推進します。

災害はわがまちにとって常に隣り合わせの問題であり、

市民の生命と暮らしを守ることを第一に対策を講じます。

また、地域資源の活用を図りながら、

豊かな自然環境を後々の世代に引き継いでいけるよう、

保全と利活用の両立を推進していきます。

Ⅱ-② 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち

ゼロカーボンシティ化を進め「環境・経済・社会の好循環」を創出

新規 **ゼロカーボンシティ推進事業　１６０３万円** P. 32

「2050年温室効果ガス排出量実質ゼロ」のゼロカーボンシティをめざし、再生可能エネルギー100%由来の電力への切り替えや、エネルギーの地産地消の推進、経済の域内循環などを図り、「環境・経済・社会の好循環」を生み出す、持続可能な社会の実現に向けた取組を進めます。

（主な取組）

◆住宅への太陽光発電設備と蓄電設備の同時設置への補助

◆ゼロカーボンシティ実現に向けた調査等の実施
└市保有遊休地の可能性調査
└公共施設を活用したPPAの面的展開の可能性調査

◆脱炭素及び再生可能エネルギー事業を進める地域新電力との連携強化

PPAで太陽光パネルを設置した三段池公園総合体育館

PPAとはPower Purchase Agreement（電力販売契約）のことで、施設所有者が施設の屋根等のスペースを無償で提供する一方で、事業者は太陽光等の発電設備を設置・管理し、発電された電力を施設所有者に売却する事業モデルのことです。再生可能エネルギーへの転換を進めつつ、施設所有者と事業者双方にメリットがあり本市でも積極的に導入しています。

環境にやさしいごみ処理のあり方と減量を進めます

新規 **ごみの減量ふくちやまモデル推進事業　５６３万円** P. 33

ごみ処分量削減のため、市民などへのより効果的な啓発に加えて、容器包装以外のプラスチックごみの資源化等、環境に配慮したごみの適正処理の仕組みづくりにより、効果的なごみ処理のあり方検討を進めます。

（主な取組）

◆容器包装以外のプラスチックごみの再商品化に向けた検討・準備

◆市民や事業者との連携によるごみの減量・資源化モデルの検討・実施

◆環境学習教材の作成による子どもから家庭に向けたごみの減量等の啓発

ごみの減量による延命化を進めつつ処分場も整備します

第４期埋立処分場整備事業　４億５１９７万円 P. 34

廃棄物の埋立処分場の更なる処分可能容量確保のため、第4期埋立処分場の整備を行います。

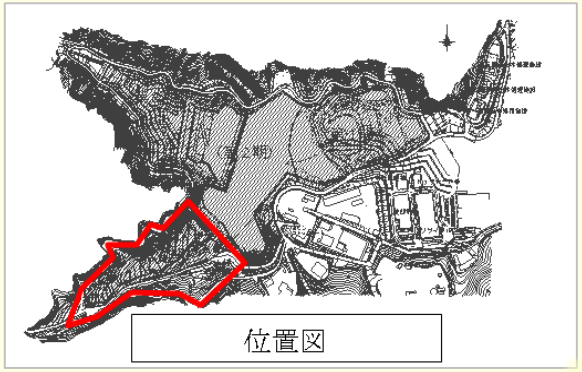
供用開始予定：令和11年度
計画容量：約20万㎥

（主な取組）

◆土工、法面工、擁壁工、排水構造物工、渓流保全工の実施

継続費（単位：千円）

年度	新築工事
R5	444,263
R6	444,263
合計	888,526



位置図

Ⅱ-② 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち

地域資源を活かした人づくり・まちづくりの夜久野モデル

新規 未来につなぐ人と森づくり事業　９１３万円 P. 35

少子高齢化の進行が著しい夜久野地域において、地域住民と地域への移住者、夜久野地域に関わりを持つ人が連携し、夜久野地域の豊かな地域資源（森林・丹波漆・宝山など）と歴史を活かして、持続可能な循環型の地域づくりをめざします。

夜久野地域の地域資源を守り、活かしていく人づくり・まちづくりを進めるため、移住定住促進に関する事業や農林関連事業とも連携しながら、地域資源の発信を地域の内外に向けて実施することで、関係人口や夜久野地域への移住者の増加を図りつつ、地域の活性化に繋げていきます。

（主な取組）

◆木育キャラバンの開催

◆夜久野の地域資源を再発見するイベント（マルシェを含む）の実施

◆地域づくりワークショップの実施

夜久野ふれあいプラザ、農匠の郷やくのを中心に各種イベントを開催

木育キャラバン（イメージ）

夜久野地域で行われている漆掻き

大江山連峰の魅力を知り観光誘客と環境保全につなげます

福知山千年の森づくり事業　５２２万円 P. 36

「丹後天橋立大江山国定公園」に指定されている三岳山から大江山連峰一帯は、豊かな自然・歴史・伝説など、次世代につなぐべき多様で豊富な地域資源を有しています。

これらの地域資源の魅力を発信し誘客を図りつつ、国定公園の価値を見出し継続的に森づくりに関わる人と協働することで、地域振興と環境保全へとつながるサイクルを構築します。

（主な取組）

◆市内外の親子を対象にした「福知山市独自のトレイルラン教室」の実施

トレイルランとは、山林の未舗装路など様々な地形を走る近年流行のアクティビティであり、本事業ではそこに環境教育の要素も組み込んだ福知山市独自のイベントを開催します

R4に実施したトレイルラン教室

Ⅱ-② 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち

誰ひとり取り残さない災害に強い福知山市をめざします

拡充 避難のあり方検討会推進事業　８９１万円 P. 37

「福知山市避難のあり方検討会」の最終取りまとめに基づく各テーマの対応策について、その具現化を図るとともに、取組についての進捗状況や方向性の確認を行います。

（主な取組）
- ◆要配慮者の個別避難計画の作成及び運用
- ◆「避難スイッチ」情報の発信
- ◆防災教育の推進
- ◆市民啓発イベントの実施
- ◆避難のあり方推進懇話会の開催

要配慮者支援訓練
（蓼原・小谷自主防災会）

防災アプリをより役立つようにアップデート

拡充 防災マップ整備事業　１９６９万円 P. 39

総合防災ハザードマップを更新・配布するとともに、総合防災ハザードマップを利用した出前講座を実施します。また、「福知山市防災」アプリをハザードマップと連携させ更なる普及を図ります。

（主な取組）
- ◆総合防災ハザードマップの更新及び全世帯への配布
- ◆「福知山市防災」アプリの機能追加

前回作成後、新たに公表された浸水想定区域や土砂災害警戒区域等を追加

自宅等の任意の位置におけるハザード情報の確認などができるようにします

防災アプリ
画面イメージ

京都府中・北部地域の災害情報を一元化・共有化します

中・北部地域共同消防指令センター整備事業　４億９０２６万円 P. 40

福知山市消防防災センターにおいて、令和6年4月から京都府中・北部地域の6消防本部が共同で運用する消防指令センターの整備を前年度から引き続いて行い、災害情報の一元化・共有化を図り、より災害に強い消防防災体制を構築します。

（主な取組）
- ◆消防指令システム整備
- ◆消防指令センター改築工事
- ◆消防指令システム整備施工監理

共同化する6消防本部
福知山市、舞鶴市、綾部市、京丹後市 京都中部広域消防組合、宮津与謝消防組合

継続費（単位：千円）

年度	システム整備	改築工事
R4	957,549	79,079
R5	410,378	33,891
合計	1,367,927	112,970

大規模災害時に快適なトイレ環境を提供

新規 マンホールトイレ整備事業　２２３０万円 P. 42

マンホールトイレ下部設置工事関連（下水道事業会計）　４５１万円 P. 42

災害発生時でも安心して快適に使用できるトイレ環境を指定避難所に整えることで、被災時の衛生対策や被災者の心身の健康を確保します。

（主な取組）
- ◆マンホールトイレ便器・建屋パネル購入
- ◆格納用倉庫新設
- ◆マンホールトイレ下部設置工事

令和5年度は三段池公園と日新地域公民館に整備します。その後も公共下水道エリア内の指定避難所への整備を進めます

Ⅱ 「まちづくり構想　福知山」でめざすまちづくり
③ 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち

どんな場面においても個人の尊厳が守られ、

子どもから大人まで誰もがお互いの生き方を

尊重することを基本とした地域生活を確立します。

そのような、自分らしさが生かされ

多様性を認め合う環境の下で、

子どもたちの育ちを見つめ、共に支え合い、

安心して出産・子育てできるまちづくりを進めます。

Ⅱ-③ 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち

誰ひとり取り残さず、子どもたちが社会的に自立する力を、ともに育みます

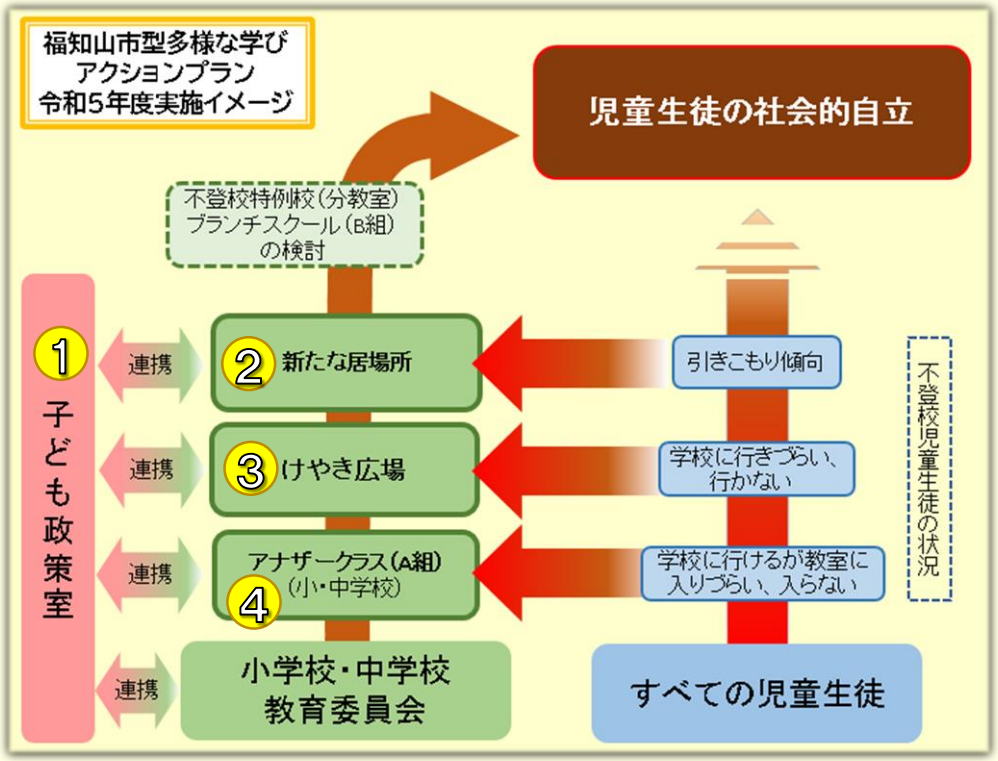
取組の背景

学校・家庭の課題は複雑化・多様化
▼
それぞれの子どもの状況に対応した多様な学びの選択肢が必要

▶ 「福知山市型多様な学びアクションプラン(※)」により多様な学びを推進

※ ■取組の柱■
・相談・対応力の充実強化、実態把握の深化
・予防的視点での早期対応・早期連携
・多様な学び、安心できる居場所の設置
・学校対応や教育支援のさらなる充実
・地域、支援者、保護者の理解を深める
・支え手となるネットワークづくり

令和5年度からは、これまで進めてきた教育と福祉保健の連携をさらに発展させ、新たな居場所を学校の内外に設けて多様な学びの場を確保しつつ、支援機能の強化を図ります。



拡充 ①子育て総合相談窓口事業　４８６万円 P. 52

（主な取組）
◆子育てに関する各種手続きから相談までワンストップの窓口の設置
◆不登校、ヤングケアラーなどに関する相談機能の充実【拡充】

新規 ②子どもが主役　自ら考える「学び」と「居場所づくり」事業　４０４万円 P. 52

（主な取組）
◆子どもたちが前向きなエネルギーをチャージし、自己肯定感を育み、自己実現に向けて活動できる居場所を福知山駅周辺に設置
◆子どもそれぞれの社会的自立（人との関わりや切れ目ないサポート）につなぐ

拡充 ③心の居場所づくり推進事業　１７７２万円 P. 73

*この事業は基本政策④

（主な取組）
◆けやき広場と教育相談室の運営【拡充】
相談員及び事務職を増員します
◆子どもよりそい支援員の配置、スクールカウンセラー等の配置調整
◆オンライン学習や施設の充実【拡充】
◆遠方からのけやき広場利用者への通級補助【拡充】

新規 ④市立学校アナザークラス（Ａ組）開設事業　２１０万円 P. 72

*この事業は基本政策④

（主な取組）
◆アナザークラス支援員の配置（2校に配置予定）
◆アナザークラス用物品の購入

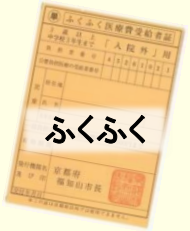
アナザークラスは、登校できても様々な要因により学級等になじめないでいる児童生徒の、学校でのもう一つ教室として設置し、子ども一人ひとりの理解と可能性や能力を伸ばす多様な学びの場とします

Ⅱ-③ 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち

府市協調で子ども医療費助成を大きく拡充　子育て支援を充実させます

拡充　ふくふく医療費支給事業　４４５１万円　*P. 55*

拡充　京都子育て支援医療費支給事業　１億７２６１万円　*P. 55*



子どもの健康保持及び増進を図るとともに、子育て家庭の経済的負担を軽減し、子育て支援の充実を図るため、子どもの医療費を助成します。

令和5年9月からは、3歳から中学生までの入院外医療費の自己負担を1医療機関1か月200円とするとともに、新たに高校生の入院費に対して医療費を助成します。

（主な取組）

◆子ども医療費の助成【拡充】

（拡充の概略は右表のとおり）

区分		拡充前		拡充後		
入院	対象年齢	中学3年生まで		中学3年生まで		**高校生**
	自己負担	200円／月		200円／月		**200円／月**
入院外	対象年齢	3歳未満	3歳～中学3年生	**小学6年生まで**	中学生	
	自己負担	200円／月	500円／日 1,500円／月超の分は償還払	200円／月	**200円／月** 1,500円／月超の分は償還払	
入院 入院外		市町村民税非課税世帯は無料		市町村民税非課税世帯は無料		

拡充

※この表は制度の概略ですので、詳細についてはHP等で別途発出するお知らせでご確認ください。

令和4年度に始まった出産・子育て応援交付金の支給を継続実施

出産・子育て応援事業　３１８９万円※　*P. 57*

※9月までの事業費は令和4年度補正予算で計上したため、令和5年度当初予算では10月以後の事業費を計上しています

妊婦期や子育てにおいて、孤立感や不安感を抱く子育て家庭も少なくなく、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備が喫緊の課題です。

妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型の支援を充実し、経済的支援を一体的に行います。

（主な取組）

◆伴走型支援

母子健康手帳発行時やこんにちは赤ちゃん訪問時の面談に加え、出産直前（妊娠8か月前後）の妊婦及び配偶者・パートナー等を対象として希望される方に対面による面談を実施します

◆妊娠届出を行った方に5万円、出生届出を行った方に5万円を支給

Ⅱ-③ 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち

保護者の負担を軽減し子育てしやすい環境を整備

拡充 **民間保育所運営事業　３億４０１１万円** P. 58

本市の総園児数の約9割を保育している民間保育所等の運営費は、施設の定員、職員の経験年数などに対し国が定める公定価格により賄われていますが、公定価格で不足する費用や法律等に基づき行う事業などに対して補助し、民間保育所等の運営の安定を図ります。

（主な取組）

◆民間保育所等への各種補助の実施

└使用済みおむつ処理に係る費用への補助【拡充】

◆教育・保育施設等入所支度金の支給

公立保育所でも公費により使用済みおむつ処理を開始します

保育人材を確保し入所を希望する園への入園を後押し

保育士確保対策事業　４６６７万円 P. 60

幼児教育の無償化や共働き世帯の増加等により、保育ニーズが年々増加する中、本市においても入所保留児童数の増加や保育人材の不足が喫緊の課題になっています。

こうした状況を改善するため、保育人材を確保し入所保留児童数の解消を図ります。

（主な取組）

◆保育士定着支援金の給付

◆保育士宿舎借り上げ支援

◆「保育補助者」「保育支援者」の雇用支援

◆保育士修学資金貸付

◆若手保育士巡回支援アドバイザーの配置

多文化共生社会の実現をめざして国際交流の取組を強化

提案型公共サービス民営化制度採択事業

拡充 **国際交流事業　１７３万円** P. 62

福知山市の在留外国人の人数は、令和4年12月末で1,143人と、5年間で約200人増加し、国籍も32か国に渡っています。

言語や文化、生活習慣などの違いを理解し尊重し合い、誰もが地域社会の一員として個性や能力を発揮できる、多様性に富んだ活力ある「多文化共生社会」の実現をめざして、国際交流に関するノウハウに長けたNPO法人と連携して事業を展開します。

（主な取組）

◆日本語支援ボランティア講座等の開催

◆国際交流ネットワーク会議の運営による情報提供

◆多文化共生セミナーや国際交流イベント等の実施【拡充】

NPO法人への業務委託化により、ワークショップや交流会、多文化共生セミナーなどイベントの内容や回数を充実させます

スポーツを通じた交流会

Ⅱ 「まちづくり構想　福知山」でめざすまちづくり
④ 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち

誰もが、何歳になっても

自らの成長を実感しながら暮らせるまちづくりを推進します。

子どもたちには、成長する喜びを覚え、

様々なことに挑戦する意欲が持てるよう、

学びや体験の機会を充実させます。

また、地域独自の有形・無形の文化財や

福知山公立大学の存在を生かしながら、

人生を豊かにするために

生涯を通じて学べる場づくりを進めます。

Ⅱ-④ 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち

水泳指導の委託により授業の安定的な実施と泳力の向上を実現

小学校水泳指導委託事業　１７９６万円 P. 74

小学校における水泳授業は、泳力の向上を図り児童の「命を守る」という能力を確実に育むために実施していますが、近年では猛暑や天候不順、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、プール施設の老朽化が進み、安全・安定的に継続することが課題となっており、児童の泳力にも影響が出てきています。

天候に左右されず安心安全でより効果的な学びの場として、令和4年度には市温水プールで専門指導員による水泳授業をモデル校1校で実施しました。その実施内容の検証を踏まえ、令和5年度からは他校へ拡大し、本格的に事業を実施します。

R6からは全校で実施予定

（主な取組）

◆温水プールでの委託指導員による授業実施　6校（昭和、大正、雀部、上豊富、上川口、大江）

◆委託指導員の学校プール派遣による授業実施 1校（三和）

令和4年度はモデル校で指導員による水泳授業を実施

福知山から世界へはばたくグローバル人材を

はばたけ世界へ　中学生短期留学事業　１５８２万円 P. 75

次代を担う中学生に、グローバルな国際社会で未来を切り拓くために役立つ短期留学の機会を提供し、国際交流を通じて自らの成長と新たなステップに挑戦する契機とします。また、広い視野と国際感覚、更にコミュニケーション力を育む機会とし、新たな価値観や多様性を受け入れることができるグローバル人材の育成へとつなげます。

（主な取組）

◆10日間の海外短期留学を実施

└留学先：カナダ

└対象者：中学2年生の15人

令和4年度は
国内留学を実施

特別教室へのエアコン設置（第1クール）をR4年度～R7年度に実施

小学校施設環境改善事業　１億５２００万円 P. 76

中学校施設環境改善事業　１億５７００万円 P. 76

学校教育環境のさらなる改善を図るため、また新型コロナウイルス感染症対応として特別教室を利用しての分散学習の機会が増加していくことを踏まえ、各小中学校でエアコンが必要な特別教室への設置を進めます。

R4～R7を第1クール、R8～R10を第2クールとしてそれぞれ全校で実施します

（主な取組）

◆特別教室空調設備設置工事に伴う設計業務

└[小]昭和、大正、雀部、庵我／[中] 成和、川口、大江

◆特別教室空調設備設置工事

└[小]惇明、修斉、六人部／[中]桃映、日新、六人部

Ⅱ-④ 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち

安心安全でおいしい学校給食を提供するとともに環境教育にもつなげます

新規 「人と環境に優しい」植物繊維素材給食食器導入事業　９１２１万円　P. 78

拡充 学校給食管理運営事業　５億６７５５万円　P. 79

更新時期を迎えている現在の石油由来のPEN樹脂製の給食食器に代わり、福知山市産の間伐材から作られた植物繊維素材の給食食器を導入します。更新する食器に環境の視点からの教育的意義を持たせ、さらに、地元の木材という地域資源の魅力を再発見するきっかけとします。

また、安心安全な学校給食を安定的に継続するため、及び教職員の事務負担の軽減を図るために、従来は私費会計で管理してきた給食費について、令和5年度から市の会計に組み入れる公会計化を実施します。

安心安全でおいしい学校給食

（主な取組）
- ◆「人と環境に優しい」給食食器への更新【新規】
- ◆全市立小中学校の学校給食を提供
  - ┗学校給食センターの施設管理及び調理・配送
  - ┗学校給食費の公会計化【拡充】
    - ・学校給食費の管理は市が直接実施
    - ・食材の調達は福知山市学校給食会を介して実施

「人と環境に優しい」給食食器

800人の大学生が学ぶ福知山公立大学は地域貢献にも積極的に取り組みます

「知の拠点」推進事業　９７０１万円　P. 80

このほかにも、「NEXTふくちやま産業創造事業」「福知山ラーニングイノベーション・プロジェクト」「はばたけ世界へ　中学生短期留学事業」「響プランFまなびの充実事業」「ジュニアIT人材育成事業」など、多くの事業で福知山公立大学と連携して効果的な事業展開をしています。

福知山公立大学の第2期中期目標（令和4年度～9年度）に掲げた大学を活かした地域創生の先進事例となる「福知山モデル」の具現化をめざし、教育研究の高度化を図る大学院設置に取り組むとともに、情報技術や社会科学の知見を活かし地域と協働した様々なプロジェクト研究を通じて人材育成、産業振興、まちづくりに貢献し、北近畿地域の「知の拠点」づくりを推進します。

（主な取組）
- ◆北近畿地域連携機構（kita－re）運営
- ◆地域防災研究センター運営
- ◆国際センター運営
- ◆数理・データサイエンスセンター運営
- ◆学生スタートアップ、オンライン講義等の人材育成
- ◆地域連携施設整備
- ◆学生修学支援

市民に開かれた大学として
市民向け講座を実施

Ⅱ 「まちづくり構想　福知山」でめざすまちづくり
⑤ 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち

肉体的にも精神的にも

健康的な生活をおくることができるように、

プライベートな空間での活動的な環境づくりを推進します。

生涯を通じた健康づくりはもとより、

スポーツや文化芸術活動をはじめとした、

自分らしい生きがいを持つ、

生活の質に着目したまちづくりを進めます。

Ⅱ-⑤ 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち

オリジナルアプリ「福知山KENPOS」を活用してアクティブシティを実現します

誰もが健康で生きがいあるまち
をめざします

拡充 **アクティブシティ推進事業　１７２９万円** *P. 90*

高血圧制圧のまちプロジェクト事業　２６０万円 *P. 92*

アクティブ（活動的・能動的）でウェルビーイング（心的・身体的・精神的な充足感が満ちている）なまち「アクティブシティ」の実現に向け、市民団体や民間企業などと協働して市民の身体活動（運動やスポーツなど）を盛んにする取組を進めます。

また、福知山市民に特徴的な健康課題の一つである高血圧症は、そのほとんどが無症状のため放置され、脳卒中・心臓病・腎臓病・認知症等に関係してくることが多いことから、幅広い年代を対象にその予防に取り組みます。

（主な取組）

◆オリジナルアプリ「福知山KENPOS」の活用推進【拡充】

◆（仮称）アクティブシティアドバイザーによる教室やPRの実施【拡充】

本市出身で北京オリンピック女子マラソンランナーの中村友梨香さんを任命

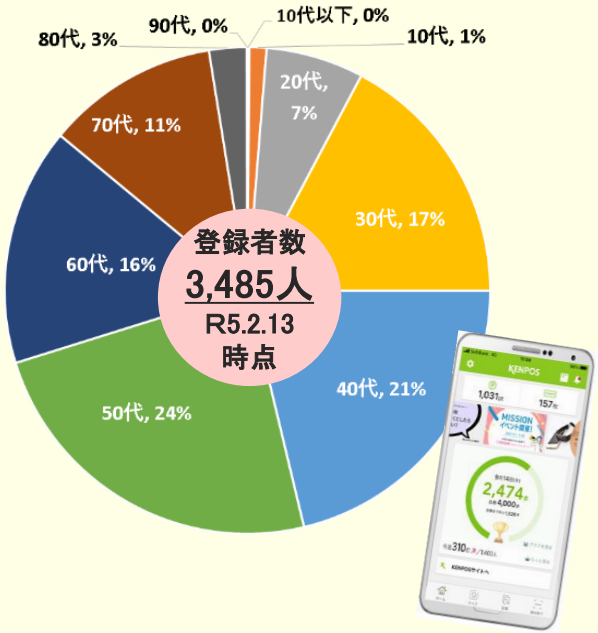
◆市民会議参画団体等のアクティブシティ推進事業への補助

◆高血圧なるほど講座の開催

◆適塩キャンペーンの実施

中村友梨香さんのランニング教室
11/20アクティブフェスタ2022

福知山KENPOS　新規登録者数　年代別割合



「する」「みる」「ささえる」そして「はじめる」スポーツで生涯スポーツ社会をめざします

拡充 **生涯スポーツ推進事業　１０３７万円** *P. 93*

アクティブシティの実現をめざす中にあって、生涯スポーツ社会の実現に向けて、幅広くスポーツに親しむ機会を提供します。

また、民間事業者により新しく開設される温水プールの利用料金を一部負担し新温水プールを利用しやすくすることで、市民の健康づくりや生きがいづくりにつながる環境を整備します。

（主な取組）

◆市民スポーツ体験会の開催（年3回）【拡充】

プロ選手等を招き、スポーツを始めるきっかけの場を提供します

◆温水プールの利用料金の一部負担（福知山市民のみ対象）

スポーツ体験会のイメージ
R4.10開催の「親子野球フェス」

Ⅱ-⑤ 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち

芸術文化・歴史文化・その他文化的な価値を有するあらゆる「文化」の振興を推進する拠点づくりを進めます

新文化ホール計画策定事業　１６２万円　P. 94

福知山市厚生会館は、昭和37年の建設から61年、平成13年の大規模改修からも22年を経過し、建物や設備の老朽化、多様化する市民ニーズへの対応が課題となっているところ、令和4年度には学識経験者や市民の代表により構成する検討委員会で様々な視点から議論を重ね検討いただき、12月には新たな施設の建設に向けた「福知山市新文化ホール基本構想」を策定しました。

令和5年度は、「福知山市新文化ホール基本構想」を踏まえ、新たな文化ホールの整備に向けた基本計画を策定します。

（主な取組）
◆基本計画策定に向けた検討委員会の開催
◆基本計画の策定
└基本計画では、基本構想で示した施設の機能や構成、規模、建設地等について具体的に示していきます

令和4年度の検討経過

- 検討委員会7回開催（予定）
- 基本構想を策定（※）
- 文化関連団体ヒアリング（55団体）
- 大学生・高校生ヒアリング（3回）
- 市民ワークショップ(5回)
- WEBアンケート(118件)
- パブリックコメント(152件)

（※）基本構想からの抜粋

＜基本理念＞
人をつなぐ、活動をつなぐ、時をつなぐ
～新たな福知山市の魅力を築く文化振興の拠点～

＜整備方針＞
◆施設機能及び構成
①ホール機能　：優れた音響を備えた多機能ホール
②創造活動機能：市民の創造・発表活動を支えるスペース
③交流機能　　：気軽に訪れ賑わいをもたらすスペース
④防災機能　　：市民や利用者の安心安全を確保する機能
◆施設の規模　：建設地とあわせて基本計画において検討
◆建設地　　：基本計画において検討（市有地活用を想定）

佐藤太清画伯の画業と功績を称えるとともに芸術に触れるきっかけとなるように取り組みます

生誕１１０年佐藤太清展事業　２３７９万円　P. 95

令和5年度に、福知山市名誉市民で文化勲章受章者の日本画家佐藤太清画伯の生誕110年を迎えます。
その画業と功績を顕彰するため、令和5年度から6年度にかけて全国各地で巡回展を開催します

（主な取組）
◆全国各地の美術館での巡回展開催
◆巡回展に合わせて各館でワークショップや講演会を実施

新たに芸術に触れる人を増やすきっかけとなるように、年齢や経験を問わず幅広く参加を募ります

令和5年度の巡回展の予定

4月～6月	板橋区立美術館（東京都板橋区）
7月～8月	八幡浜市美術館（愛媛県八幡浜市）
9月～10月	福知山市佐藤太清記念美術館
（令和6年度）	奈良県立万葉文化館（奈良県高市郡明日香村）予定

佐藤太清《最果の旅　1983年》
（福知山市佐藤太清記念美術館所蔵）

Ⅱ 「まちづくり構想 福知山」でめざすまちづくり
⑥ 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち

高齢期になっても、住み慣れた地域で

自分らしい生活を最期まで続けることができるように、

地域の実情に見合った医療・介護・予防・住まい・生活支援が

一体的に提供される地域包括ケアシステムを

生活インフラとして定着・充実させます。

そのために、介護や医療体制の整備を推進します。

Ⅱ-⑥ 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち

地域活動への参加や外出頻度の増加でいきいきとした生活を

新規 **いきいき・おでかけ応援事業　１９７１万円** *P. 103*

本事業の開始時期(R5.8月)に合わせ、これまで75歳以上の高齢者を対象に実施してきた敬老乗車券事業は終了します

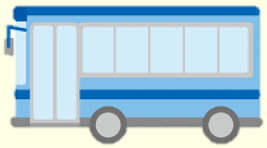
コロナ禍で3年が経過する中、地域の社会活動も低迷し、フレイル(虚弱)予備軍の高齢者が増えていると予測されます。高齢者の社会参加や生きがいづくりを促進し、健康でいきいきと暮らし続けられる社会を実現するため、これまで75歳以上の高齢者を対象に実施してきた敬老乗車券よりも利用交通機関を拡大した共通乗車券を無料配付することで、地域活動への参加、外出頻度の増加を促します。

本事業は3年間の実証事業とします。

(主な取組)

◆交通機関で利用可能な共通乗車券の無料配付(要申請)

◆利用前後のアンケートの実施・評価



共通乗車券の内容	
対象者	運転免許証を持っていない75歳以上の高齢者
対象交通機関	市内路線バス、京都丹後鉄道、タクシー、自家用有償運送等
額面	(令和5年度)　4,000円/人・年 (令和6年度～)　6,000円/人・年 ※免許返納後3年は12,000円/人・年
利用期間(予定)	(令和5年度)　8月1日～3月31日 (令和6年度～)　4月1日～3月31日

移動手段として自家用車が欠かせない高齢者の安全運転をサポート

新規 **サポートカー普及推進事業　２８５万円** *P. 96*

*この事業は基本政策⑤

自家用車を使用せざるを得ない高齢者が、自ら運転をする場合の安全対策のため、サポートカー限定免許及びセーフティ・サポートカー(サポカー)の普及を促進します。

(主な取組)

◆サポートカー購入補助

◆ペダル踏み間違い時急発進抑制装置設置補助
　└補助率1/2・上限2万円

サポートカー購入補助の内容	
対象者	サポートカー限定免許を取得(条件変更)した70歳以上の市民
対象車両	サポカーSワイド認定車両
補助金額	(小型・普通乗用車) 8万円/台 (軽自動車)　3万円/台

多年にわたり地域社会の進展に貢献された高齢者を敬愛し長寿を祝います

拡充 敬老事業　３１５４万円 *P. 105*

平均寿命の延伸とあわせて高齢者人口の中でも後期高齢者の人口が増加していくことが予測され、地域の担い手不足が懸念されます。

そうした中で、高齢者が生きがいを持ち健康で安心して暮らせるまちづくりを進めるため、従来の敬老会開催だけでなく、高齢者福祉の充実に資する自主的な地域活動も支援するなど補助対象を拡充するとともに、祝品贈呈対象年齢と品目を見直します。

（主な取組）

◆敬老事業主催者への補助【拡充】

◆節目祝品の贈呈【拡充】

祝品はカタログギフトに切り替え、単価もアップします

変更の内容

項目	変更前	変更後
補助基準年齢	70歳以上	75歳以上
補助基準額	940円／人	1,500円／人 ※経過措置あり
事業内容	・敬老会開催 ・記念品等配布	・敬老祝賀会（記念品配布含む） ・地域交流促進事業 ・健康づくり事業 ・敬老にちなんだイベント　等
節目祝品	80歳、88歳、90歳、99歳、最高齢者	80歳、88歳、99歳、最高齢者

地域の中核病院としての機能を維持・充実していきます

医療機器等整備事業（病院事業会計）　１６億８４５４万円 *P. 172*

市民病院は、地域の中核病院として、先進的な医療ニーズに対応できるよう、引き続き医療スタッフの確保と医療機能の充実に努めます。

令和5年度においては、医療情報システム、MRI装置（1.5T）をはじめとした医療機器等の整備・更新をすすめるとともに、医療機能の強化及び職員の増員等に対応するための施設の整備と、災害拠点病院として大規模災害発生時にも継続的な医療提供を維持するために必要な自家発電設備などの整備に着手します。

（主な取組）

◆医療情報システムの更新

◆MRI装置（1.5T）の更新　ほか

MRI装置イメージ

Ⅱ-⑥ 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち

各地域の様々な困りごとは地域包括支援センターがまとめて受け止めます

拡充 地域包括支援センター運営事業（介護保険事業特別会計）　２６６０万円 *P. 167*

提案型公共サービス民営化制度採択事業

拡充 生活支援・介護予防サービス基盤整備事業（介護保険事業特別会計）　２１５６万円 *P. 167*

取組の背景

個々の人間関係の希薄化や公的サービスのみでは担いきれない高齢者への支援ニーズの多様化と増加

▼

地域での支え合いによる日常生活支援への移行が必要

▶ 地域包括支援センターを核として地域包括ケアシステムを推進

原則中学校区単位に配置する9つの地域包括支援センターが、地域の関係機関との顔の見える関係づくりや情報共有をしながら、高齢者をはじめ地域にお住いのみなさまの様々な課題に対応します。

また、地域支援コーディネーターを配置し、地域の支え合いの仕組みづくり等の地域資源の開発、サービス・支援の担い手の養成等の取組を推進します。

（主な取組）
- ◆「地域包括支援センター“よりそい窓口”」の設置【拡充】
- ◆オンライン相談窓口の開設【拡充】
- ◆地域支援コーディネーターの配置【拡充】

専門職員が、年齢や属性を問わず地域住民の相談を包括的に受け止め、必要な支援に繋ぎます

社会福祉協議会に委託をすることで、地区福祉推進協議会やいきいきサロン、自治会などの小地域福祉活動の主体者との関係性を活かし、各地域の実情に応じた効果的な展開をめざします

住み慣れたまちで安心して高齢期を迎えるためには介護人材の確保が不可欠です

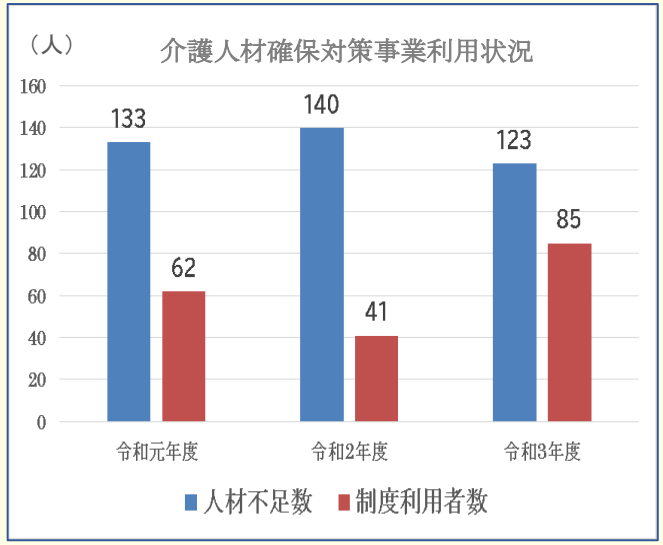
拡充 介護人材確保対策事業　１７５８万円 *P. 106*

高齢化が進み、ますます介護が必要な方の増加が見込まれる一方で、介護人材の不足は著しく、その確保・育成については、一事業所の努力だけでは困難な状況にあります。

こうした介護人材不足の現状を踏まえ、人材確保・定着を図るため、これまで実施してきた各種助成制度に加え、介護支援専門員等研修受講補助を新設し、介護事業所等の人員体制確保支援を強化します。

（主な取組）
- ◆UIターン家賃助成（令和3年度以前申請分に限る）
- ◆介護職員初任者研修受講支援
- ◆介護福祉士実務者研修受講料助成
- ◆介護人材定着支援金
- ◆介護支援専門員等研修受講補助【新規】
- ◆介護福祉士育成修学資金貸付
- ◆福祉人材PRプロジェクト事業

介護支援専門員及び主任介護支援専門員に係る資格取得・維持に必要な研修の受講費を補助します



Ⅱ 「まちづくり構想　福知山」でめざすまちづくり
⑦ 市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が生かされるまち

年齢や性別、障害の有無などに関わらず、
働く意欲のある人が働く場を得られるように、
また、ライフスタイルに応じた多様な働き方や
育児・介護と仕事が両立できるように、
制度設計や民間事業者への働きかけを総合的に推進します。
同時に、企業・事業者のニーズを踏まえつつ、
スキルアップの機会充実や市外への発信力の強化などの
環境整備を進めます。

Ⅱ-⑦ 市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が生かされるまち

誰もが多様な働き方ができるまちとして「障害者雇用1000人のまち」に

障害者雇用1000人のまちプロジェクト推進事業　　４１３万円 *P. 110*

SDGsに呼応した持続可能なまちをめざします

障害のある人が、就労の機会を得て自分の仕事に誇りを持ち自立した生活を送れるよう、国、府、企業等、様々な関係機関との連携を強化し、協働により障害のある人の雇用促進、定着支援に向けた取組を進め「障害者雇用1000人のまち」をめざします。

（主な取組）

◆障害者雇用1000人のまちづくりプロジェクト推進会議の開催
◆障害者新規就労支度金制度
◆障害者自動車運転免許教習費助成制度
◆障害福祉サービス事業所の工賃向上支援事業
◆企業向けの障害者雇用支援事業

就労継続支援B型事業所での様子

福知山公立大学情報学部と連携した情報スキル取得のためのシニアワークカレッジを開講

シニアワークカレッジ運営事業　　２００万円 *P. 111*

質の高い子育てと学びのまちにをめざします

事業所の労働力不足解消や生産性向上のため、DX（デジタルトランスフォーメーション）の導入や情報人材の確保が重要になっています。

福知山公立大学の知見を活用し、シニア世代を中心に社会人に向けた実社会で応用できる情報スキルを基礎から学べる教育プログラムを開講し、地域のデジタル化を牽引する人材育成を図ります。

（主な取組）

◆シニア世代を中心にITの知識や技術を身につけるための情報教育プログラムの実施

R5開設予定コース（内容を変更する場合あり）
データサイエンスコース
AI人材育成コース
広報用動画制作コース
組込みハードウェア設計コース
ドローンの自動操縦で学ぶプログラミングコース

R4年度　シニアワークカレッジ

Ⅱ 「まちづくり構想　福知山」でめざすまちづくり
⑧ 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち

本市のみならず北近畿の地域経済の礎となってきた
長田野工業団地の企業定着やさらなる発展に向けて、
同アネックス京都三和も合わせた各般の取組を推進します。
同時に、本市の地域産業の強みや特質を見極めつつ、
かつ産学労金などとの連携を密にしながら、
新しい情報や技術を積極的に取り入れる
進取の産業振興を進めます。

Ⅱ-⑧ 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち

全国の先進的な事例や人に触れる機会を設けて受講者からのスタートアップを促します

拡充 ＮＥＸＴふくちやま産業創造事業　１２１０万円 P. 114

産業集積と技術革新のまちをめざします

コロナ禍による社会価値の変化に伴い、ニーズの変化に対応した新たな価値創造が必要となる中、その担い手となる新たな企業等の創出に取り組みます。その過程で、地域内外の人や企業が繋がる「地域間ネットワーク」と、先進的企業の誕生・連携・集積という循環を地域主体が自律的に回す「地域エコシステム」を生み出し、先進的な企業、多様で魅力的な産業を福知山の地に集積させることをめざします。

（主な取組）

◆NEXT産業創造塾
└先進地の起業家や投資家による講演・パネルディスカッション・トークセッション等を実施します。

◆NEXT産業創造プログラム（福知山公立大学へ委託）
└福知山公立大学の先生のほか、全国からトップクラスの講師陣を招請して社会人等を対象とした実務的なプログラムを開講します。
└東京都渋谷区に拠点を置く共創施設「SHIBUYA QWS」と連携し、地域ネットワークの構築及びスタートアップの創出を図ります。【拡充】

「SHIBUYA QWS」とは、渋谷駅直上の大規模複合施設において、渋谷スクランブルスクエア株式会社が運営する共創施設のことです。東急グループ、JRグループ、NTTデータ、SONY、味の素など大手企業をはじめ、スタートアップ企業や起業家が多数加盟しています。

NEXT産業創造プログラム授業風景

SHIBUYA QWSプロジェクトベース

「福知山KENPOS」とのポイント連携も継続　本市のデジタルプラットホームとして機能します

新規 キャッシュレス決済ふくぽ管理運営事業　３４４４万円 P. 115

令和4年度に実施した「ふくちやま応援プレミアムポイント事業」により構築した、市独自のキャッシュレス決済アプリ「ふくぽ」を継続して活用し、日常の決済手段としての普及・定着を図り、市域内消費の拡大及びスマート社会の実現をめざします。

（主な取組）

市内の300以上の加盟店で使えます

◆キャッシュレス決済アプリ「ふくぽ」システムの維持管理
◆「ふくぽ」での買い物で決済金額の2%分のポイントを利用者に付与
◆「ふくぽ」を活用した各種施策展開の支援、システムに集積された決済等データの活用の検討

Ⅱ-⑧ 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち

着実に販路拡大・売上拡大の実績を積み上げています

拡充 福知山市産業支援事業　３０２４万円 *P. 116*

あらゆる産業分野において、経営上の課題を抱える中小企業者・農業従事者等や起業を志す人の課題解決に向けた支援を行うために福知山産業支援センターを運営し、地域経済の活性化を図ります。

また、福知山産業支援センターとの連携のもと、事業者の販路開拓を下支えします。

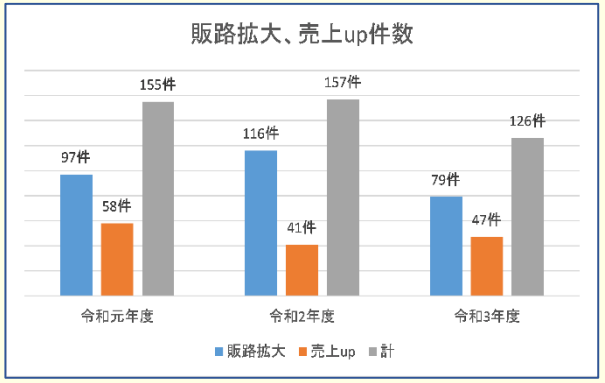
（主な取組）

◆福知山産業支援センターでの相談業務

◆販路開拓支援

└事業者のECサイト構築に係る経費の1／2を補助【拡充】

従来の補助率は1／4



長田野工業団地の令和3年度の製造出荷額は過去最高を更新！

拡充 企業誘致促進特別対策事業　１億１１６９万円 *P. 118*

全国的にコロナ禍において先送りされていた投資の再開に加え、脱炭素やデジタル化の加速に向けて、EVや半導体関連を中心に企業の設備投資が増加してます。

市内既存企業の設備投資やそれに伴う雇用増加に対して支援し、企業の生産性の向上と市外流出を防止します。

また、企業の多様な投資方法に対応できるよう奨励措置事業を拡大し、更なる雇用の創出や域内経済の活性化を図ります。

市内企業の移転等の要件を緩和します

（主な取組）

◆工場等の新設、増設、建替え等に伴う奨励金交付【拡充】

└企業誘致促進事業

（工場等新設等奨励金・雇用奨励金・U・Iターン雇用奨励加算金）

└操業支援事業

（工場等新設等奨励金・雇用奨励金）

◆固定資産税（建物等）の免除

「鉄道のまち」の歴史とアイデンティティを体現しすべての世代が楽しめる施設を8月にオープン

発信力のある魅力あふれるまちをめざします

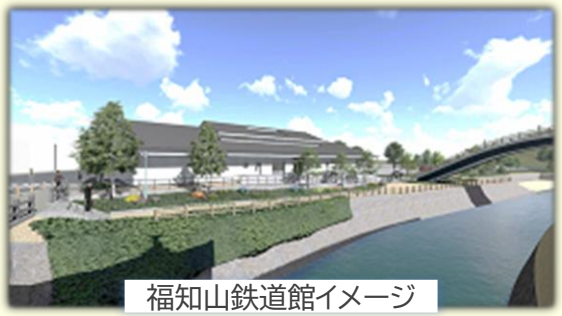
新規 福知山鉄道館運営事業　２２３０万円 *P. 119*

令和5年8月に開館を予定する福知山の新しい鉄道館について、「鉄道のまち」の歴史を伝えつつ、全世代が楽しみながら体験し、歴史を知るコンテンツを配置することで、多様な人々が集う魅力あふれる施設として運営します。

（主な取組）

◆福知山鉄道館の開館準備、管理・運営

◆オープニングイベントの実施


福知山鉄道館イメージ

施設の概要	
施設の規模	延床面積：583.76㎡
館内コンテンツ	●交流体験エリア：運転シミュレーター、インタラクティブウォール、キッズスペース　ほか ●歴史展示エリア：動輪展示、ジオラマ展示　ほか ●物品販売コーナー
入館料	・大人500円 ・子ども（小・中学生）250円

Ⅱ-⑧ 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち

農産物の高付加価値化と販路拡大への積極支援で農業者の稼ぐ力をアップ

稼げる農業応援事業　７６７万円 *P. 120*

稼げる農業ステップアップ事業　５８１万円 *P. 121*

自らが「稼ぐ」ことに取り組み、将来展望を切り開こうとする意欲ある農業者を支援するために、福知山ならではの農作物等を新たに掘り起こす「ふくちやまのエエもん」発掘事業を引き続き実施するとともに、販路拡大に向け、認定品のPR戦略を展開します。

また、コロナ禍や肥料価格等の高騰により収益が減少したことで農業者の生産意欲が低下している中で、農産物の高付加価値化や販路拡大につながる取組を行い、農業者の所得や生産意欲の向上を図ります。

（主な取組）

◆「ふくちやまのエエもん」鑑定会の実施

◆商談会及び品評会への参加・出品支援

◆市内販売所での直売及びPR

三段池公園総合体育館内の子育て支援拠点「りとるハピネス」で認定品等の直売を実施します

◆環境にやさしい農業新規取組応援事業（有機JAS認証取得支援：補助率1/2以内、補助金上限4万円）

◆環境にやさしい米づくり支援事業（有機JAS認証米：6千円/10a、特別栽培米：3千円/10a、3か年まで）

◆稼げる農業者育成講座事業

◆販路開拓支援事業（補助率1/2以内、補助金上限額25万円）

三段池公園
りとる ハピネス
での直売

モデル地区拡大で循環型森林整備の福知山モデルの確立へ

循環型森林整備モデル事業　１４７０万円 *P. 122*

全国的にも伐期を迎えた人工林の更新は課題とされている中で、モデル的に夜久野地域において、地域と協働し循環型森林整備を行います。令和4年度におけるモデル地区での循環型森林整備で見出した課題を踏まえ、2地区目のモデル地区を設定し、市内の循環型森林整備の推進に向けた検討を深化させます。

（主な取組）

◆循環型森林整備の実施（R5は1地区追加）

└主伐、再造林や搬出間伐などその森林に合った施業方法による

◆モデル地区での森林整備を行う林業事業体のバックアップ

先進地の専門家からの助言を受けながら的確な支援を行います

人材の確保を図る中小企業等を応援します

新規 **奨学金返済負担支援事業　６０万円** *P. 123*

市内中小企業等の人材確保を支援するとともに、京都府北部の高等教育機関である福知山公立大学及び舞鶴工業高等専門学校の卒業生の市内就職の促進を図ります。

（主な取組）

◆京都府が実施する就労・奨学金返済一体型支援事業（奨学金返済負担軽減支援制度）への本市独自の上乗せ補助

└対象期間：補助対象従業員につき3事業年度

└補助金額：5,000円／月

従業員に支給された手当等の額の一部を補助します

Ⅱ 「まちづくり構想　福知山」でめざすまちづくり
⑨ 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち

公共施設の長寿命化や機能集約に取り組み、

産業・生活基盤を整えるとともに、

防災・減災対策として、居住地の浸水対策、

治山・治水対策を進めます。

Ⅱ-⑨ 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち

太陽光発電・蓄電システム・V2B(※)機器等を備えます

桃映地域公民館等整備事業　２億３３７５万円 *P. 133*

桃映地域公民館は、平成29年4月に市立の地域公民館として開設しましたが、桃映地域体育館内に設置しており、社会教育施設としての機能は限定されています。

今後、地域住民の生涯学習や地域福祉、住民自治、避難所等の地域コミュニティの新たな拠点施設となる多機能施設とし令和6年度の完成をめざして整備します。

（主な取組）

◆桃映地域公民館新築工事

継続費（単位：千円）

年度	新築工事
R5	208,000
R6	312,000
合計	520,000

(※)V2Bとは、Vehicle to Buildingの略。電気自動車から建物に電力を供給するシステムのことで、これにより災害等による停電時でも施設内の電気設備が一定使用できます

令和8年度までに4地域公民館の大規模改修を順次進めます

地域公民館等長寿命化（大規模改修）事業　５億９６４０万円 *P. 134*

建築後40年以上が経過し老朽化の進む市内の地域公民館の大規模改修を行います。地域福祉や地域コミュニティ活動の拠点として、「地域包括支援センター」、「地域住民センター」、「避難施設」としての機能を備え、地域住民同士の繋がりを深め、安心・安全を確保した施設として改修整備します。

（主な取組）

◆日新地域公民館長寿命化改修工事

◆六人部地域公民館長寿命化改修工事

◆川口地域公民館長寿命化改修設計

継続費（単位：千円）

年度	日新	六人部
R4	138,840	―
R5	323,960	250,000
R6	―	375,000
合計	462,800	625,000

大規模改修の予定年度

公民館	設計	工事
日新	R3	R4～R5
六人部	R4	R5～R6
川口	R5	R6～R7
成和	R6	R7～R8

三和地域の交流拠点として三和荘をリニューアルします

対話とパートナーシップのまちづくりの中で役割を整理し、全体を公的施設として維持していきます

三和地域交流拠点施設整備事業　４億９９０７万円 *P. 136*

令和6年4月のオープンをめざします

三和荘及び関連施設を「地域交流拠点」として、地域住民や立地企業をはじめ広く市民等の皆様が、より使用しやすく、より気軽に訪れやすい施設とするための大規模改修を行います。

（主な取組）

◆三和荘改修工事

└1階：地域公民館、地域協議会、アネックス京都三和連携室及び生涯学習施設を設置

└2階：宿泊施設を会議室、多目的室に改修

└3階：宿泊施設（浴室等を設置しリニューアル）

◆三和荘関連施設改修工事

◆三和荘備品購入

継続費（単位：千円）

年度	改修工事
R4	232,000
R5	348,000
合計	580,000

三和荘

Ⅱ-⑨ 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち

新たに老朽化の進む市営住宅の統合建替に着手

新規 **南佳屋野団地ほか建替事業**
１０３０万円 *P. 138*

市民の安心・安全と居住水準の向上を図るため、「福知山市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、老朽化した市営住宅南佳屋野団地、西佳屋野団地の統合建替事業に着手します。

（主な取組）

◆土地の筆界及び所有権等調査

PFI方式での整備が着々と進捗中

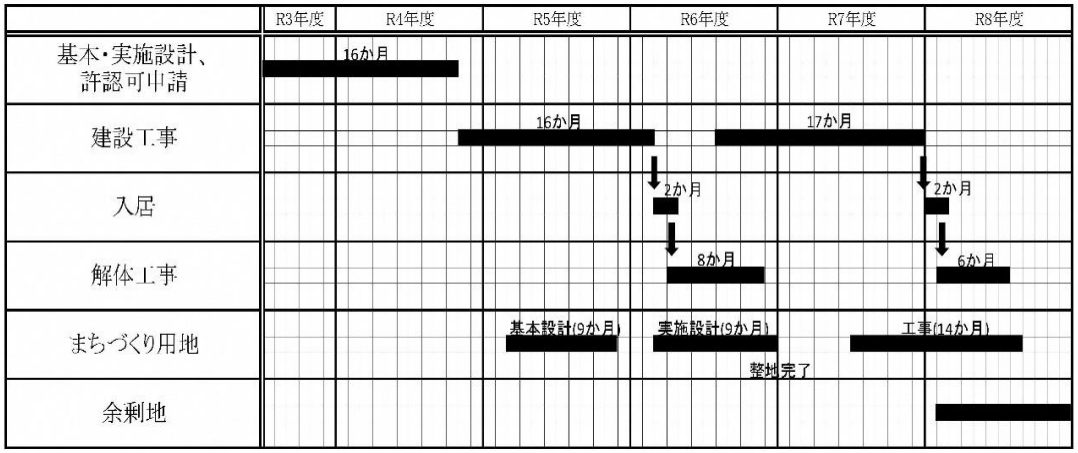
つつじが丘・向野団地建替事業
１３億７５７７万円 *P. 139*

［債務負担行為額（令和2～8年度） 47億121万円］

「福知山市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、耐用年数を超過し老朽化した市営住宅つつじが丘団地（市営73戸、府営87戸）、向野団地（76戸）の統合建替を行います。

（主な取組） ◆つつじが丘団地建設工事

つつじが丘・向野団地建替事業【上】と人権関連施設集約整備事業（まちづくり用地）【左】の概略スケジュール



つつじが丘団地の建替で生み出された土地を地域のまちづくりに活用します

新規 **人権関連施設集約整備事業　２０００万円** *P. 140*

丘地区には、丘児童センターを含む4つの人権関連施設が設置されていますが、これらの施設はほとんどが昭和50年代に設置されたもので老朽化が進んでいます。施設の配置状況やニーズを把握し、必要な施設機能をバランスよく配置するため、「まちづくり」の視点から公共施設のエリアマネジメント（集約化・複合化）を検討しています。

そうした中にあって、同地区内の市営・府営つつじが丘団地の建替に伴い新たに生み出されるまちづくり用地を活用し、人権尊重と福祉のまちづくり推進の拠点施設として、児童センターを核に教育集会所と老人施設の機能を集約化・複合化した施設を整備します。

また、既存施設については、用途を廃止し新たな活用を検討します。

（主な取組） ◆丘まちづくり実行委員会との新施設についての検討
◆地質調査業務・基本設計業務

Ⅱ-⑨ 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち

令和元年度から取り組んできた大江町河守・公庄地区の浸水対策（短期対策）も本年度で完成します

住み続けられるまちをめざします

内水対策事業　　１億３１６５万円 *P. 141*

令和4年度から繰り越した継続費及び令和4年度前倒し補正（3月）の予算と合わせて工事を実施していきます

平成30年7月豪雨をはじめとして、台風や前線などにより多くの地域で内水被害が発生しました。その後由良川減災対策協議会の大規模内水部会で、由良川流域における内水対策について国・府・市などの関係機関により検討を進め、大江町河守～公庄地区をモデル地区として施設配置最適化計画を策定しました。

その後、当該計画に基づき排水ポンプ施設、調整池等の設計、工事を進め、令和4年5月末には救急排水ポンプ3基のうち1基（1トン／秒）について設置を終えており、令和5年度にかけては残り2基のポンプ設置、公手川の改修等を実施します。

（主な取組）
- ◆救急排水ポンプ施設整備工事
- ◆陸閘設置工事
- ◆公手川改修工事

ポンプ3基で合計3トン／秒の排水能力となります

継続費（単位：千円）

年度	新築工事
R2	90,000
R3	480,000
R4	276,000
R5	2,700
合計	848,700

完成が近づく救急排水ポンプ施設（R4.11）

早期に浸水被害軽減効果を高めるため各施設改良を総合的に進めます

下六人部地区浸水被害軽減対策事業（道路改良）　　４６００万円 *P. 142*

下六人部地区浸水被害軽減対策事業（農業用施設）　　４２８０万円 *P. 142*

下六人部地区浸水被害軽減対策事業（下水道事業会計）　　５３００万円 *P. 142*

平成26年8月豪雨をはじめとして、台風等の豪雨により家屋の浸水被害が発生した下六人部地区の浸水被害の軽減を図るため、道路排水施設、農業用施設、下水道施設の整備等を総合的に実施します。

（主な取組）
- ◆道路改良：詳細設計（松山下線ほか5路線）、排水構造物改修工事（市の谷線ほか3路線）
- ◆農業用施設：砂子池測量設計、長田中池及び長田新池改修工事
- ◆浸水対策：長田野第1排水区ほか雨水排水路新設工事

堤体を補強改修する長田中池

Ⅱ-⑨ 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち

本市の主要な観光施設の一つであり親子の憩いの場である動物園をさらに活性化させます

新規 **福知山市動物園活性化事業　　１１００万円** *P. 144*

北近畿唯一の動物園である福知山市動物園は、昭和53年の開園より44年が経過していることから、施設の老朽化が進んでいます。

年間に約6.5万人が訪れる本市にとって主要な観光施設の一つである福知山市動物園を、さらに便利で満足度の高いものにするため、数多くいただいている休養施設や授乳室の設置要望も踏まえ、施設の改修や整備を実施します。

（主な取組）
- ◆トイレ建替にかかる設計業務
- ◆ベンチ等休養施設の整備
- ◆園舎手摺り等の再塗装

トイレは授乳室併設型に建て替えます

動物園へのアクセス道路も整備します（地域間交流促進ネットワーク事業（市道整備）にて）

来園者で賑わう動物園

交通の安全性と利便性の向上のため都市計画道路2路線の整備を継続します

福知山綾部線は、第2次緊急輸送道路にも指定されている防災上重要な都市計画道路です

街路事業（篠尾線　篠尾工区）　　２５２７万円 *P. 145*

街路事業（福知山綾部線）　　７４０６万円 *P. 146*

都市計画道路篠尾線の国道9号から市道福知山停車場奥榎原線までの210mについては未整備区間となっています。国の実施する国道9号の4車線化に合わせて未整備区間を整備することで、農免道路を経由した道路網を構築し、地域交通の安全向上を図ります。

都市計画道路福知山綾部線については、京都府施工区間である土工区において近隣の小中学校の通学路となる歩道を整備し、通学路の安全を確保します。また、福知山市施工区間である興工区においては、石原土地区画整理事業地内は整備が完了しているものの、観音寺地内へ向けての区間が未整備であるため、早期に整備を行い緊急輸送道路としての効果の発現と利便性の向上を図ります。

篠尾線　篠尾工区
起点部（国道9号交差点）

終点部（福知山停車場奥榎原線交差点）

（主な取組）
- ◆篠尾線整備
  - └篠尾工区：用地測量・土地購入・建物補償
- ◆福知山綾部線整備
  - └興工区：用地測量・土地購入・建物補償
  - └土工区：測量詳細設計に係る負担金の支出

福知山綾部線
土工区（土地内）

興工区（石原地内）

Ⅱ-⑨ 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち

令和2年度から進めてきた汚泥処理施設再構築事業が本格化　環境に優しい施設に生まれ変わります

福知山終末処理場汚泥処理施設再構築事業（下水道事業会計）　１９億４５００万円 *P. 174*

老朽化した福知山終末処理場の汚泥処理施設を更新するとともに、バイオマス資源である下水汚泥の有効活用を図るため、消化施設及び固形燃料化施設を新設します。官民連携により、下水汚泥のもつエネルギーを有効利用する創エネルギー技術を導入し、下水汚泥エネルギーの有効活用と温室効果ガス排出量削減を推進します。

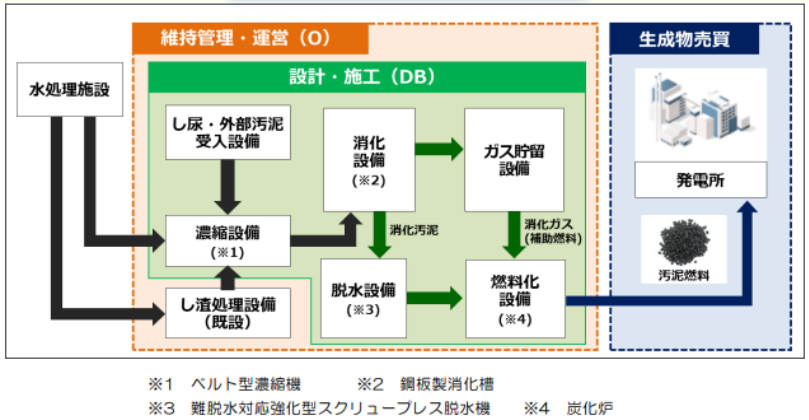
継続費（単位：千円）

年度	事業費
R2	0
R3	30,000
R4	345,000
R5	1,945,000
R6	2,090,000
R7	2,090,000
合計	6,500,000

（主な取組）

◆汚泥処理施設再構築事業にかかる施設整備

整備施設の処理フロー図



施設の完成予想図

現在（R5.1. 31）の本市の交付率は57.3%　さらなる普及をめざします

マイナンバーカード普及強化事業　３９９万円 *P. 147*

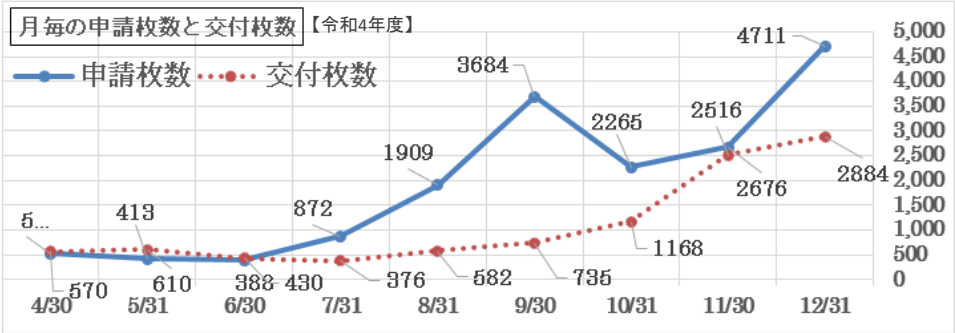
マイナンバー制度は行政の効率化・市民の利便性の向上のための基盤であり、そのツールとなるマイナンバーカードを、ほぼ全国民が保有するという目標を達成するため、マイナンバーカードの出張申請窓口を開設するなどし、マイナンバーカードの普及を促進します。

（主な取組）

◆出張受付窓口の開設

└自治会や企業に市職員が出向き申請受付をします

◆普及広報



出張窓口での顔写真撮影

Ⅲ　持続可能な財政構造の堅持

健全な財政構造を持続していくための基本的な方針

「持続可能な財政運営の基本方針」のもと、

持続可能な財政構造を堅持しつつ

「まちづくり構想　福知山」でめざすまちづくりを進めます。

Ⅲ 持続可能な財政構造の堅持

① 財源確保

市有財産の積極的活用とアセットによる創出土地等の活用

3億9792万円

※基金繰入は含んでいない

・公共施設マネジメントにより創出された土地や土地開発公社から継承した土地などの利活用による収益等を、公共施設等総合管理基金に積み立て財源を確保（売却・貸付含め　2億7631万円）
・その他財産収入の確保（土地及び建物の貸付・売払収入　1億2161万円）
・令和4年度までに積み立てた公共施設等総合管理基金を令和5年度の各事業に充当（基金繰入　2億88万円）

ふるさと納税の推進

3億9120万円

※基金繰入は含んでいない

・ふるさと納税の更なる拡大に向けて、関係人口の拡大・継続に係る取組や新たな返礼品の開発などを推進（ふるさと納税寄附金　3億9120万円）
・令和4年度までに積み立てたふるさと納税基金を令和5年度の各事業に充当（基金繰入　4億8606万円）

物品売払収入の拡大

2238万円

・ペットボトルの水平リサイクル（使用済みペットボトルを原料化し再びペットボトルにするリサイクル手法）の取組開始に伴う売却額の増（653万円）
・8月に開館予定の福知山鉄道館でのグッズ販売（744万円）　　ほか

その他多様な財源の確保

3589万円

・ネーミングライツ（市民運動場野球場、三段池公園、三段池公園多目的グラウンド、三段池公園テニスコート）、指定ごみ袋（外袋）などによる広告料収入の獲得（1228万円）
・基金一括管理方式による効率的な基金運用（1613万円）
・都市公園使用の弾力的運用による使用料収入の確保（748万円）

Ⅲ 持続可能な財政構造の堅持

② 歳出等の改善

業務効率化の推進

削減超過勤務相当額　378万円

・AI-OCR、RPAの導入等によりシステムへの単純入力時間を削減
　〇AI-OCR、RPA導入による削減時間（令和4年度）：789時間
　〇マクロ等導入による削減時間（令和4年度）：651時間合計

PFI方式による事業実施

建設費削減試算額　1億8215万円

・令和3～8年度に実施するつつじが丘・向野団地建替事業は、本市で初めてPFI方式を採用し、トータル費用を削減
　〇従来方式と比べた削減率　△8.77%　削減額　1億8215万円

民間資金による建設・管理運営方式による施設更新

建設費削減試算額　3億円
管理運営費削減額　2598万円

・老朽化した市温水プールの更新にかかり、新たに建設するプール（令和5年5月オープン予定）について土地を無償貸与した上で建設及び管理・運営の全てを民間事業者にて実施
　〇建設費の削減額（庁内検討時の想定建設費）　3億円
　〇管理運営費の削減額（令和4年度（当初予算）指定管理料）　2598万円／年

地方債繰上償還による公債費の抑制

R4繰上償還実施額 6億1041万円
R4繰上償還によるR5償還抑制額 1億5660万円

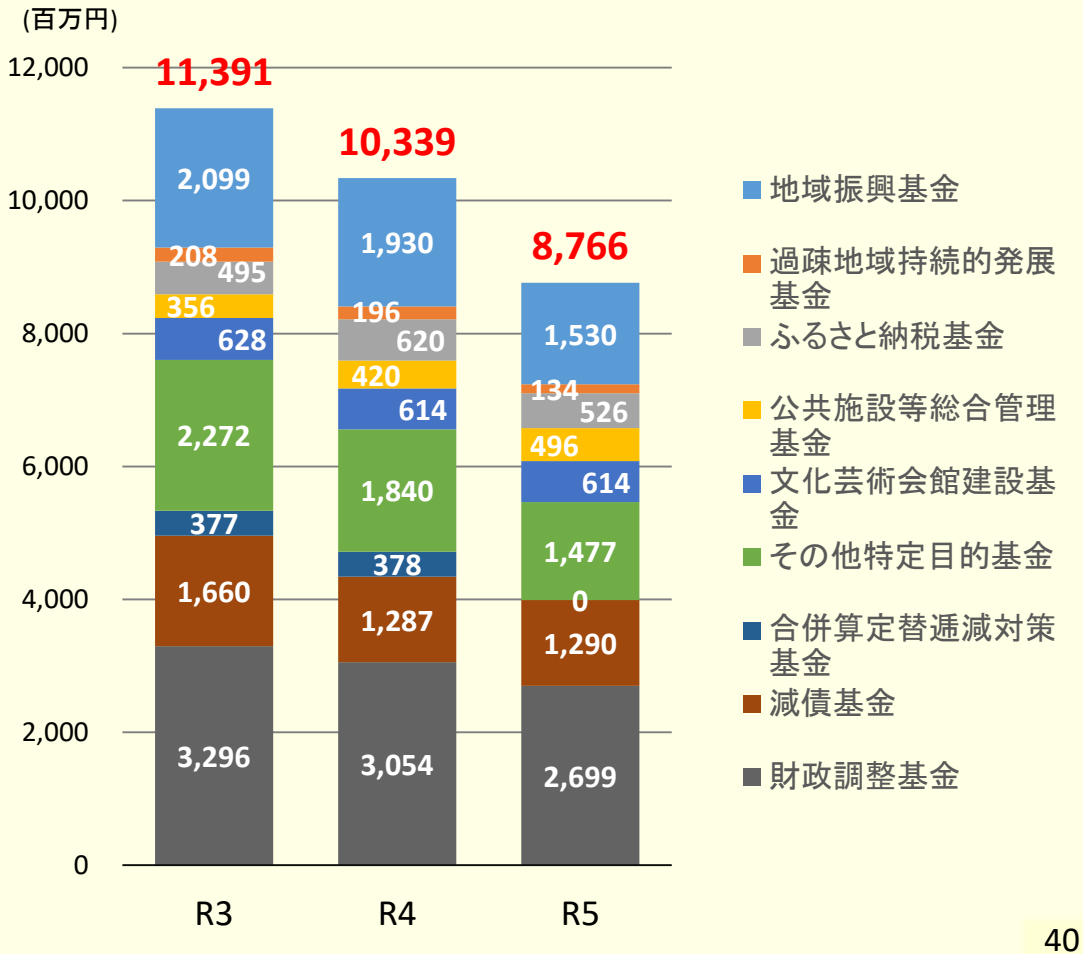
・繰上償還を実施し、将来の公債費負担を抑制
　〇令和4年度実施　当初予算：3億9988万円
　　3月補正予算：2億1053万円

③ 基金残高

- 全基金残高は、前年度末見込みに比べて15.7億円減少し87.7億円（令和5年度末見込み）
- 財源対策基金は、普通交付税の合併算定替加算の急激な逓減の影響を緩和するための合併算定替逓減対策基金の全残額の3.8億円を取り崩したこと、財政調整基金を公共施設等の光熱費高騰対策の財源として3.6億円取り崩したことにより、前年度末見込みに比べて7.3億円の減
- 集会施設等整備事業や三和地域交流拠点施設整備事業への繰入が伸びた地域振興基金は4.0億円の減
- ふるさと納税基金は有害鳥獣捕獲事業など活用事業を拡大し繰入が伸びたことで0.9億円の減

（単位　百万円）

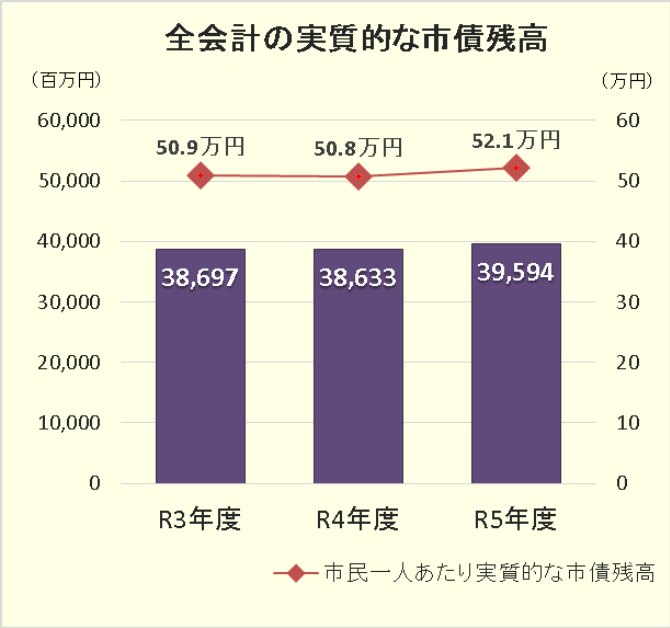
		年度末 基金残高			前年度比	
		R3	R4	R5	増減額	増減率(%)
特定目的基金	地域振興基金	2,099	1,930	1,530	△ 400	△ 20.7
	過疎地域持続的発展基金	208	196	134	△ 62	△ 31.6
	ふるさと納税基金	495	620	526	△ 94	△ 15.2
	公共施設等総合管理基金	356	420	496	76	18.1
	文化芸術会館建設基金	628	614	614	0	0.0
	その他特定目的基金	2,272	1,840	1,477	△ 363	△ 19.7
財源対策基金	合併算定替逓減対策基金	377	378	0	△ 378	△ 100.0
	減債基金	1,660	1,287	1,290	3	0.2
	財政調整基金	3,296	3,054	2,699	△ 355	△ 11.6
合計		11,391	10,339	8,766	△ 1,573	△ 15.2



④ 市債残高

- 市債残高は普通会計、全会計ともに増加の見込み（実質的な市債残高（＊）も、ともに増加）
- 普通会計の実質的な市債残高は 118.0億円となり、前年度に比べて 4.7億円増加の見込み
  （市民ひとりあたりの実質的な残高は 0.6万円増加の 15.5万円）
- 全会計の実質的な市債残高は 395.9億円となり、前年度に比べて 9.6億円増加の見込み
  （市民ひとりあたりの実質的な残高は 1.3万円増加の52.1万円）

（＊） 交付税の財政支援措置控除後の市債残高

（単位：百万円）

	R3年度		R4年度		R5年度		実質的な市債残高の増 減	
	市債	実質的な市債	市債	実質的な市債①	市債	実質的な市債②	増減額 ②－①	増減率（%）
普通会計	47,301	11,808	45,406	11,335	47,277	11,802	467	4.1
全会計	87,210	38,697	85,802	38,633	88,392	39,594	961	2.5
市民一人あたり実質的な市債残高								
普通会計		15.5万円		14.9万円		15.5万円	0.6万円	4.0
全会計		50.9万円		50.8万円		52.1万円	1.3万円	2.6
（人口）	R4.3.31	76,037人	R4.12.31	76,037人	R4.12.31	76,037人